

注3

大学番号：私357

[平成25年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

大阪樟蔭女子大学大学院 人間科学研究科 化粧ファッション学専攻

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 樟蔭学園
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シムキョウチョウ タカダ オサム
事務局長 高田 修

電話番号 06-6723-8265

（夜間） 06-6723-8265

F A X 06-6723-8348

e-mail shomu@osaka-shoin.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部（平成◇◇年度より変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 留意事項に対する履行状況等	14
7. その他全般的事項	15

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 樟 蔭 学 園

(2) 大学名

大 阪 樟 蔭 女 子 大 学

(3) 大学の位置

〒577-8550

大阪府東大阪市菱屋西4丁目2番26号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(モリ シンタロウ) 森 眞太郎 (平成11年5月24日)		
学 長	(トクナガ マサオ) 徳永 正直 (平成22年4月1日)		
研究科長	(キクノ ハロウ) 菊野 春雄 (平成22年4月1日)	(ウチダ ヨシキ) 打田 良樹 (平成26年4月1日)	自己都合により退職のため新たに選出(26)
専攻長	(キヤマ セイイチ) 北山 晴一 (平成25年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
人間科学研究科 化粧ファッション学専攻 修士(化粧ファッション学)	2年	10人	20人	基礎となる学部等 学芸学部 被服学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度 平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	10人 () []	人 () []	10人 () []	人 () []	0.75倍	
志願者数	() []	() []	8 (4) [-]	(-) [-]	8 (5) [-]	(-) [-]		
受験者数	() []	() []	8 (4) [-]	(-) [-]	7 (5) [-]	(-) [-]		
合格者数	() []	() []	8 (4) [-]	(-) [-]	7 (5) [-]	(-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	8 (4) [-]	(-) [-]	7 (5) [-]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A			0.80		0.70			

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		[]	[]	[ー] 8	[ー] ー	[ー] 7	[ー] ー	
2 年次				[ー] ー	[ー] ー	[ー] 8	[ー] ー	
3 年次						[ー] ー	[ー] ー	
計		[]		[ー] 8		[ー] 15		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0 人	平成23年度	人	人		%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	0 人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	8 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	7 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
合 計	15 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)

により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間科学研究科 化粧ファッション学専攻>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数				専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
共通科目	人間科学研究方法論	1通 1前		2		1					兼 6	担当者変更 (26) 時間割編成の都合で集中に変更 (25)	
基幹科目	化粧ファッション学特殊研究 1 (化粧ファッション学原論)	1 前	2			1					兼 2	オムニバス	
	化粧ファッション学特殊研究 2 (化粧ファッション学原論)	1 後	2			5 7	2 4	1			兼 2 兼 4	担当者変更 (26) 伊豆原自己都合により退職 (25) 葛谷自己都合により退職、兼任に変更 (25) 川野、専任に追加 (25) オムニバス	
演習科目	ファッション学科目群	1・2前 未開講 1・2前 1・2後 1通 1・2前 1通 未開講 1・2後		2 2 2		1 1	1				兼 1	通常開講 (26) 履修希望者がいなかったため (25) 時間割の都合で集中に変更 (26) 時間割の都合で集中に変更 (26) 伊豆原自己都合により退職 (25)	
	化粧デザイン学科目群	化粧デザインと科学演習 1 化粧デザインと科学演習 2 化粧デザインと技術演習 化粧デザインと美学演習 化粧デザインと医学演習	1・2前 1・2後 1・2前 1・2後 1・2前	2 2 2 2 2		1 1 1 1 4	1				兼 1 兼 4 兼 1	川野、兼任から専任に変更 (25) 葛谷自己都合により退職、兼任に変更 (25)の記載漏れ (26)	
	身体表象学科目群	身体表象と心理演習 身体表象と解剖学演習 身体表象と社会演習 身体表象と福祉演習	1・2通 1・2後 1・2通 未開講 1・2前 1・2後 1・2通 1・2後 1・2前	2 2 2 2		1 1	1	1			兼 1 兼 4 兼 1	時間割編成の都合で集中に変更 (26) 通常開講 (26) 担当者自己都合により辞任 (25) 集中 担当者都合により集中に変更 (26) 担当者都合により開期変更 (25)	
	関係科目群	ファッションビジネス論 ビューティビジネス論 非営利ビジネス論 ボランティア活動論	1・2前 1・2後 1・2通 未開講 1・2前 1・2後	2 2 2 2		1 1					兼 1 兼 1	担当者都合により集中に変更 (26) 履修希望者がいなかったため (25)	
	特論科目	化粧セラピー特論	2通 2前		2							兼 1	担当者都合により集中に変更 (26) 時間割都合により担当者変更 (26)
		キュレーション特論	2前		2							兼 1	集中 集中
		保存修復復元特論	2前		2							兼 2	
		メイクアップ特論	2前		2							兼 1	
		ヘアデザイン特論	2後		2							兼 1	
		ファッション特論	2前 2後		2		4	1					担当者自己都合により辞任のため担当者・開期変更 (26)

集中 演習 科目	パフォーマンス特論	2後 2前 2後	2							兼 1	集中
	デジタルデザイン特論		2							兼 1	担当者都合により開期変更(26)
	ファッション学方法論 1	2通	2		1						
	ファッション学方法論 2	2通	2		1						
	ファッション学方法論 3	2通	2			1					
	化粧デザイン学方法論 1	2通	2		1						
	化粧デザイン学方法論 2	未開講 2通	2		1						履修希望者がいなかったため(26)
	化粧デザイン学方法論 3	2通	2				1				
	身体表象学方法論 1	2通	2		1						担当者自己都合で退職のため担当者変更(26)
	身体表象学方法論 2	2通	2		1						
	ビジネス方法論	2通	2		1						

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	34	0	37	3	34	0	37	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	短期大学部と共用 学園内の用途変更に伴 う増加(25) 短期大学部廃止に伴う 変更(26)			
	校 舎 敷 地	49,246.91㎡ 28,610.00㎡ 24,246.00㎡	0.00㎡ 20,636.91㎡	0.00㎡	49,246.91㎡ 44,882.91㎡				
	運動場用地	18,096.30㎡ 4,187.00㎡	0.00㎡ 13,909.30㎡	0.00㎡	18,096.30㎡				
	小 計	67,343.21㎡ 32,797.00㎡ 28,433.00㎡	0.00㎡ 34,546.21㎡	0.00㎡	67,343.21㎡ 62,979.21㎡				
	そ の 他	71,897.30㎡ 50,744.94㎡	0.00㎡ 21,152.36㎡	0.00㎡	71,897.30㎡				
	合 計	139,240.51㎡ 83,541.94㎡ 79,177.94㎡	0.00㎡ 55,698.57㎡	0.00㎡	139,240.51㎡ 134,876.51㎡				
(2) 校 舎	専 用	52,350.65㎡ 42,892.34㎡ 39,865.77㎡	0.00㎡ 19,805.55㎡	0.00㎡	52,350.65㎡ 62,697.89㎡ 59,671.32㎡	短期大学部と共用 学園内の用途変更に伴 う増加(25) 短期大学部廃止に伴う 変更及び校舎解体に伴 う減少(26)			
	(42,892.34㎡) (39,865.77㎡)	(19,805.55㎡)	(0.00㎡)	(62,697.89㎡) (59,671.32㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	55室 75室 53室	37室 51室 42室	実験実習室 63室 59室	情報処理学習施設 7室 (補助職員 0人)	語学学習施設 2室 (補助職員 0人)	大学全体 短期大学部と共用		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		平成25年4月 専任教員2名退職、1名採 用のため(25)		
		化粧ファッション学専攻			8 9 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での 共用分 その他共用図書(26.5/1) 355,355 [80,979] その他共用雑誌(26.5/1) 3,101 [680]	
	化粧ファッショ ン学専攻	6,685 [1,080] 6,748 [1,080] 6,232 [1,003] (6,620 [1066]) (6,600 [1042]) (6,098 [981])	148 [37] 149 [37] 148 [37] (148 [37]) (149 [37]) (148 [37])	2 [2] (2 [2])	152 186 242 (152) (186) (228)	388 300 (388) (299) (295)	0 (0)		
	計	6,685 [1,080] 6,748 [1,080] 6,232 [1,003] (6,620 [1066]) (6,600 [1042]) (6,098 [981])	148 [37] 149 [37] 148 [37] (148 [37]) (149 [37]) (148 [37])	2 [2] (2 [2])	152 186 242 (152) (186) (228)	388 300 (388) (299) (295)	0 (0)		
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		6,571㎡		576		470,000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		4,991㎡ 2,752㎡		テニスコート 9 面					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出専攻全体 共同研究費は大学全体
	学生1人当り 納付金	教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	3,000千円	3,000千円	3,000千円	
		共同研究費等	5,500千円	5,500千円	設備購入費	1,000千円	500千円	500千円	
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,020千円	740千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		大阪樟蔭女子大学大学院								備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地			
人間科学研究科	年	人	年次 人	人		倍		大阪府東大阪市 菱屋西4丁目2番26 号			
臨床心理学専攻	2	8	—	16	修士 (臨床心理 学)	1.06	平成16	奈良県香芝市関屋 958番地			
人間栄養学専攻	2	8	—	16	修士 (人間栄養 学)	0.24	平成17	大阪府東大阪市 菱屋西4丁目2番26 号			
化粧ファッション学専攻	2	10	—	20	修士 (化粧ファッ ション学)	0.75	平成25	大阪府東大阪市 菱屋西4丁目2番26 号			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学、短期大学においては学科単位（短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位）、大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<人間科学研究科 化粧ファッション学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授 (専攻長)	キタヤマ セイイチ 北山 晴一 (68)	平成25年4月	人間科学研究方法論※ 化粧ファッション学特 殊研究1(化粧ファッ ション学原論) 化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ 身体表象と社会演習 身体表象学方法論2 研究指導	専任	教授 (専攻長)	キタヤマ セイイチ 北山 晴一 (69)	平成25年4月	人間科学研究方法論※ 化粧ファッション学特 殊研究1(化粧ファッ ション学原論) 化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ 身体表象と社会演習 身体表象学方法論2	
専任	教授	イズハラ ツキエ 伊豆原月絵 (54)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ ファッションと美学演習 ファッションと美学演習 ファッション特論 身体表象学方法論1 研究指導						平成25年3月31日自己都合により退職(25) 川野准教授に担当者変更(25)
					兼任	講師	ミズノ ナツコ 水野 夏子 (36)	平成26年4月	ファッションと美学演習 化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※	担当者未定のためH26年度開講予定(25) 担当者辞任のため担当(26) 担当者を追加(26)
										藤本准教授に担当者変更(26) 川野准教授に担当者変更(26)
専任	教授	タカタ サダキ 高田 定樹 (56)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ 化粧デザインと科学演習1 化粧デザインと科学演習2 化粧デザイン学方法論1 研究指導	専任	教授	タカタ サダキ 高田 定樹 (56)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ 化粧デザインと科学演習1 化粧デザインと科学演習2 化粧デザイン学方法論1	年齢記載ミス(25)
専任	教授	カトウ ミチヒコ 加藤 道彦 (66)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ ファッションビジネス論 ビューティービジネス論 ビジネス方法論 研究指導	専任	教授	カトウ ミチヒコ 加藤 道彦 (66)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ ファッションビジネス論 ビューティービジネス論 ビジネス方法論 研究指導	年齢記載ミス(25)
専任	教授	コバヤシ マサシ 小林 政司 (52)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ ファッションと科学演習2 ファッション学方法論2 研究指導	専任	教授	コバヤシ マサシ 小林 政司 (53)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ ファッションと科学演習2 ファッション学方法論2 研究指導	
専任	教授	スエヒロ ショウジ 末廣 祥二 (66)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ ファッションと科学演習1 ファッション学方法論1 研究指導	専任	教授	スエヒロ ショウジ 末廣 祥二 (67)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ ファッションと科学演習1 ファッション学方法論1 研究指導	履修希望者なしのため未開講、H26年度開講予定(25) 通常開講(26)
専任	教授	クズヤ ツネヒコ 葛谷 恒彦 (65)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※	専任	教授 兼任 講師	クズヤ ツネヒコ 葛谷 恒彦 (66)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※	平成25年3月31日自己都合により退職(25)

				化粧デザインと医学演習 化粧デザイン学方法論2 研究指導				化粧デザインと医学演習 化粧デザイン学方法論2 研究指導	履修希望者なしのため未開講 (26)	
専任	准教授	フジモト ジュンコ 藤本 純子 (44)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ ファッションと技術演習 ファッション学方法論3 研究指導	専任	准教授	フジモト ジュンコ 藤本 純子 (45)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ ファッションと技術演習 ファッション学方法論3 ファッション特論 研究指導	担当者辞任のため科目追加 (26)
専任	講師	ナカト エミ 仲渡 江美 (41)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ 身体表象と心理演習 化粧デザイン学方法論3	専任	講師	ナカト エミ 仲渡 江美 (42)	平成25年4月	化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ 身体表象と心理演習 化粧デザイン学方法論3	
兼任	教授	ナカタニ カネト 仲谷 兼人 (62)	平成25年4月	人間科学研究方法論※	兼任	教授	ナカタニ カネト 仲谷 兼人 (62)	平成25年4月	人間科学研究方法論※	年齢記載ミス (25) 担当者変更により担当なし (26)
兼任	教授	サンドウ キンヤ 山東 勤弥 (62)	平成25年4月	人間科学研究方法論※	兼任	教授	サンドウ キンヤ 山東 勤弥 (59)	平成25年4月	人間科学研究方法論※	年齢記載ミス (25)
兼任	教授	カクタ ケンイチ 角田 憲一 (54)	平成26年4月	ヘアデザイン特論	兼任	教授	カクタ ケンイチ 角田 憲一 (55)	平成26年4月	ヘアデザイン特論	
兼任	教授	タミー木村 オオガキタミコ (大垣 多美子) (71)	平成25年4月	化粧デザインと技術演習	兼任	教授	タミー木村 オオガキタミコ (大垣 多美子) (72)	平成25年4月	化粧デザインと技術演習	
兼任	講師	カワノ サエコ 川野 佐江子 (47)	平成25年4月	化粧デザインと美学演習 キュレーション特論	兼任 専任	講師 准教授	カワノ サエコ 川野 佐江子 (48)	平成25年4月	化粧デザインと美学演習 化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※ 身体表象学方法論1	平成25年4月1日より専任に変更 (25) 担当者辞任のため科目追加 (25) 担当者辞任のため科目追加 (26)
					兼任	准教授	モリ ユウコ 森 優子 (42)	平成26年4月	キュレーション特論 化粧ファッション学特 殊研究2(化粧ファッ ション学の現在)※	時間割都合により担当 (26) 担当者を追加 (26)
					兼任	教授	タカハシ ヨリコ 高橋 依子 (67)	平成26年4月	人間科学研究方法論※	担当者を追加 (26)
					兼任	教授	コウムラ ヒロコ 甲村 弘子 (59)	平成26年4月	人間科学研究方法論※	担当者を追加 (26)
					兼任	教授	イシクラ フミノブ 石蔵 文信 (58)	平成26年4月	人間科学研究方法論※	担当者を追加 (26)
					兼任	教授	ホウキ マサノリ 保木 昌徳 (57)	平成26年4月	人間科学研究方法論※	担当者を追加 (26)
					兼任	准教授	アンドウ マミ 安藤 真美 (47)	平成26年4月	人間科学研究方法論※	担当者を追加 (26)
兼任	講師	ヤマダ ヒサオ 山田 久夫 (61)	平成25年4月	身体表象と解剖学演習						自己都合により辞任 (25) 担当者未定のためH26年度開講予定 (25)
					兼任	講師	ニシ マユミ 西 真弓 (56)	平成26年4月	身体表象と解剖学演習	前任者辞任のため担当 (26)

兼任	講師	ヒビノ エイコ 日比野 英子 (59)	平成25年4月	身体表象と福祉演習 化粧セラピー特論	兼任	講師	ヒビノ エイコ 日比野 英子 (60)	平成25年4月	身体表象と福祉演習 化粧セラピー特論	
兼任	講師	カワナカ ダイスケ 川中 大輔 (32)	平成25年4月	非営利ビジネス論 ボランティア活動論	兼任	講師	カワナカ ダイスケ 川中 大輔 (33)	平成25年4月	非営利ビジネス論 ボランティア活動論	履修希望なしのため未開講、H26年度開講予定(25)
兼任	講師	ハマダ クニオ 浜田 久仁雄 (56)	平成26年4月	保存修復復元特論※	兼任	講師	ハマダ クニオ 浜田 久仁雄 (57)	平成26年4月	保存修復復元特論※	
兼任	講師	オオヤマ ヒロミ 大山 弘美 (55)	平成26年4月	保存修復復元特論※	兼任	講師	オオヤマ ヒロミ 大山 弘美 (56)	平成26年4月	保存修復復元特論※	
兼担	講師	エガワ エツコ 江川 悦子 (60)	平成26年4月	メイクアップ特論	兼担	講師	エガワ エツコ 江川 悦子 (61)	平成26年4月	メイクアップ特論	
兼任	講師	ミオリ ヨシノ 御織 ゆみ乃 (西田 由美) (55)	平成26年4月	パフォーマンス特論	兼任	講師	ミオリ ヨシノ 御織 ゆみ乃 (西田 由美) (56)	平成26年4月	パフォーマンス特論	
兼担	講師	キタオ カズノブ 北尾 和信 (71)	平成26年4月	デジタルデザイン特論	兼担	講師	キタオ カズノブ 北尾 和信 (72)	平成26年4月	デジタルデザイン特論	

(注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
8	1	9	7	1	8	65	2
(8)	(1)	(9)	[Δ 1]	[0]	[Δ 1]	歳	名

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	葛谷 恒彦	本人の事情による退職のため辞任（25）
2	教授	伊豆原 月絵	本人の事情による退職のため辞任（25）
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

届出時の専任教員について、2名が本人の事情による退職のため辞任となっているが、教育上学生の不利益とならないように科目担当者の交代等により対応している。交代した専任教員については、大学案内や学生便覧、ホームページ、ガイダンス等にて在職専任教員を明示し、周知を図っている。なお、学内人事により准教授に昇任した教員1名を研究指導教員として補充している。

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	該当なし	該当なし	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年5月)	人間科学研究科化粧ファッション学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	平成24年度末に高齢の専任教員2名から自己都合による退職の希望があったため、すぐに後任人事を開始し、平成26年度より新たに授業担当の若手教員2名を採用している。 あわせて平成25年度より、学内人事により准教授に昇任した若手教員1名を研究指導教員として補充している。 なお、現在65歳の定年を超える教員2名については、本学の定める特任教授規程に基づき60歳以上で採用となった教員であり、特任教授の定年は規程により70歳となっている。 当該教員のうち1名が平成26年度に70歳の定年を迎えるため、後任人事を進めており、教員組織編成の将来構想を踏まえた適切な年齢構成となるよう準備している。	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<人間科学研究科 化粧ファッション学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では学長の下に平成19年よりFDを推進する部署として教育開発機構を設立した。その下部の部会として21年度までは教育実践部会・ジェネリックスキル教育部会・情操教育部会・マナー教育部会を設置し、22年度から24年度までは、学士課程基幹教育開発部会・組織的FD/SD検討部会を設置し、21年度以前の実績を継承・発展させてきた。24年度以降はFD・SD活動推進委員会がこれを継承し、活動している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

原則月1回開催

c 委員会の審議事項等

教育研究活動改善のための立案、FD・SDに関する事項について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業改善のためのアンケートの実施及び結果分析、フィードバック
- ・ 教職員による相互の授業参観
- ・ 授業法改善のためのワークショップ（FD・SD研修会）
- ・ 新任教員のための研修会 等

b 実施方法

- ・ 授業参観（授業オープンウィーク）実施（一定期間に授業見学を実施）
- ・ 新任者を対象とした学内研修を実施
- ・ FD・SD研修会を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業改善のためのアンケートは年2回実施
- ・ 授業参観は授業全期間を通じて実施
- ・ FD・SD研修会は年数回実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業参観後の意見交換やFD・SD研修会でのワークショップの結果を踏まえた授業改善の取り組みを報告
- ・ 授業改善のためのアンケート結果を総括し、個票を公開

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 実施有
- ・ 春期及び秋期の各学期末（年2回）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 個票をWeb上で公開し、紙媒体でも大学事務局等で公開している

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

大阪樟蔭女子大学FD・SD活動推進委員会規程

(設置)

第1条 大阪樟蔭女子大学（以下「本学」という。）は、本学の教育理念の実現に向け、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を積極的に推進するために、大阪樟蔭女子大学FD・SD活動推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学の教育理念を実現することを目的として、学部及び大学院の教育・研究内容及び教育方法の改善、そして個人の能力開発及び組織間の連携を推進し、組織的な職能開発に取り組む。

(役割)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を審議するとともに、組織的な取り組みを推進するための具体的方策を学長に提案する。

- (1) 教育研究活動改善のための立案
- (2) FD・SD研修プログラムの開発・実施
- (3) FD・SD活動に関する情報の収集と提供
- (4) その他学長の諮問する事項

2 学長は、委員会の提案を受け、部館長会、大学協議会に諮り、速やかに学内体制を整備する。

(構成)

第4条 委員会は、次の者でもって構成され、学長が委嘱する。

- (1) 委員長
- (2) 委員 4名以内
- (3) 専任教員協力員（教務部長） 1名
- (4) 事務局職員 2名

2 委員長は、学長室の協議に基づき、本学専任教員中より、学長が指名する。

3 委員長は、審議課題に係る企画、立案を主導すると共に、委員会の運営を掌るものとする。

4 委員及び協力員は、学長、委員長の協議に基づき、本学専任教員中より、学長が指名する。

5 事務局職員は、学長、事務局長の協議に基づき、本学専任職員中より、学長が指名する。

6 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要と認めた場合、委員以外の者を出席させることができる。

3 委員会は、原則として月1回開催する。なお、委員長が必要と認めたときは、臨時に委員会を招集することができる。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、学長が大学協議会の議を経て行うものとする。

附 則

1 この規程は、平成24年5月17日から施行する。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・・・別紙のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成21年10月1日 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、他大学、地方自治体等の公的機関に配布
- ・在学生で希望の者には配布し、図書館にも配架

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成21年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受け「認定」を受けた。
- ・平成27年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ ☒ 無)

b 公表予定時期

(平成26年7月31日)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

◇ 総括評価・所見

設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画どおり、人間科学研究科化粧ファッション学専攻を開設し、充実した教育研究活動を行い、その水準を一層向上させるため、学科内、関係部局、各委員会等において検討を行っている。

また、設置計画における設置の趣旨・目的に関する自己点検・評価の実質的な実施に向けて、準備を進めている。

◇ 設置計画の達成状況

○ 教育課程の養成の考え方及び特色

教育課程の養成の考え方及び特色に基づき、設置計画に沿って、授業科目を開講した。

○ 教員組織の編成の考え方及び特色

教員組織の編成の考え方及び特色に基づき、教員組織を編成している。

○ 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

オリエンテーションや履修ガイダンスの実施計画の策定及び講義要項の作成を行うとともに、実質的な教育指導体制について検討を行った。

○ 施設、設備等の整備計画

施設、設備等の整備計画に基づき、施設、設備等の拡充を行った。

○ 入学者選抜の概要

入学者選抜の概要に基づき、入学者選抜を行い、設置計画どおり、入学生の受け入れを行った。

○ 自己点検・評価

自己点検・評価委員会にて、全学的な自己点検・評価作業を行い、平成21年度に報告書を作成した。

○ 情報の提供

教育研究上の理念や目的、教育課程、授業科目、入学者選抜、教育研究環境、学生支援等について、大学案内やホームページ等にて情報の提供を行った。

○ 教員の資質の維持向上の方策

教員の資質の維持向上にむけて、FD・SD活動推進委員会を設置し、具体的な検討を行った。